

# 農業で人口減少問題を解消する

～富士見町の新たな農業振興方針～

問 産業課 営農推進係 ☎62-9328

富士見町の農業は、2010年から農業の成長産業化を目標に、新規就農者の確保育成や農業法人の誘致などの「企業の経営体の確保育成」と、基盤整備済の水田を畑として利用できるように石を取り除いたり、区画を大きくするなどの再基盤整備を推進して「農地の高収益化」を図ってきました。

その結果、9年間で町内の農業生産額は約54億円、農業雇用は約300人、農業税収は約1.7倍まで増加して、富士見町に公益を創出する産業に成長しています。



## 新規就農者支援



2010年から「新規就農者支援」に取り組んだ結果、多くの若者が町内で就農し、農業に活気が戻っています

## 農業法人誘致



2011年から「農業法人誘致」を始め、9社誘致した結果、農業生産額は増加し、新たに多くの雇用が創出されました

## 再基盤整備



大平地区の水田地帯は「再基盤整備」により、通年トマトが栽培され、多くの観光客が来場する農地になりました

## 景観保全



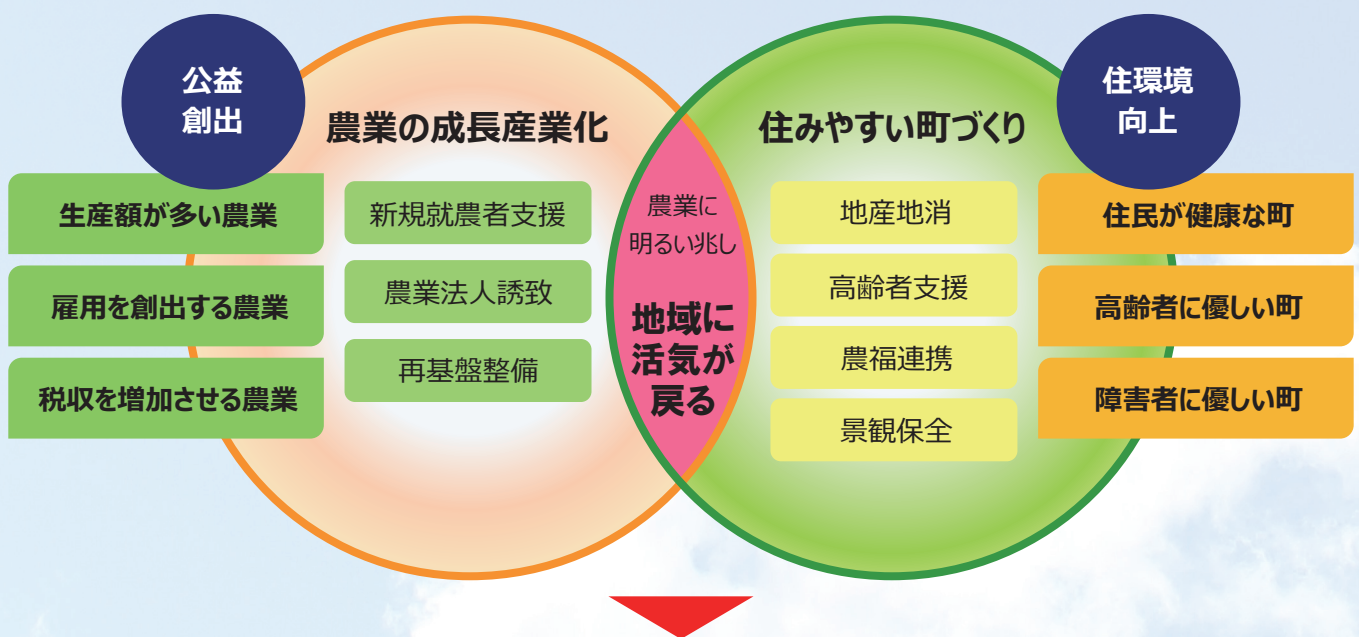
地域による中山間直接支払事業等を活用した「農地保全」の取り組みにより、美しい農村景観が維持されています

# 富士見町の農業は次の段階へ！

農業の成長産業化に取り組んだことで大きな効果が創出され、富士見町の農業に明るい兆しが見え始めています。今後は、農業の成長産業化に加えて、新たに住民の健康向上につながる「地産地消」、野菜の出張販売などの「高齢者支援」、農業法人が障がい者を雇用する「農福連携」に取り組み、農業で住環境を向上させて、住みやすい町づくりを進めていきます。

公益を創出する「農業の成長産業化」の取り組み、そして住環境を向上させる「住みやすい町づくり」の取り組み、この2つの取り組みを併せて行い、農業振興を通じて地域に活気を取り戻していきます。

富士見町は「農業で人口減少問題を解消する」ことを新たな農業振興の方針としました。



## 富士見町は農業で人口減少問題を解消していきます

町の目標は、2045年時点で1万人を維持する水準で人口減少を抑制することです

### 新 地産地消・高齢者支援



ゆめひろばで開催している富士見マルシェは、町内の安心安全な農産物を地域住民に直売する「地産地消」の取り組みです

### 新 農福連携



町の特産品を目指して栽培しているカシスは、試験的に「農福連携」で収穫しています